

第11回 例会

会員 / 75名 出席 / 50名 出席率 / 66.67%

メイクアップ / 25名 修正 / 75名 修正率 / 100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

会長挨拶 会長 佐久間 功

明日は秋分の日、お彼岸です。国民の祝日に関する法律によりますと、春分の日は、自然を讃え自然を慈しむ日、秋分の日は、先祖と尊い亡くなった人を忍ぶ日として国民の休日と定められているのはご存じの通りです。お彼岸には「おはぎ」を食べる習慣があります。ところで、「ぼたもち」と「おはぎ」の本当の違いはなんでしょうか。昔は、牡丹の季節の春彼岸はこしあんで包んだ「ぼたもち」を食べました。萩の季節の秋彼岸は「おはぎ」になります。春は、小豆の皮が固いためこし餡にしました。小豆の収穫時期の秋は、皮が軟らかいため粒餡を使うようになったのは江戸時代のころからと言われていたのですが、今では、小豆の保存技術や品種改良が進み、季節に関係なく粒餡を使うようになっています。又、小豆の赤色には、災害が身に降りかからないようにするおまじないの効果があると信じられていて、古くから邪気を払う食べ物としての信仰が、先祖の供養と結びついたと言われていました。ぼたもちとおはぎの歴史を思い、季節の風情を感じながらおはぎを召し上がるのは如何でしょうか。

今週、土曜は、ホテル華の湯で、地区指導者育成セミナー及び、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、翌日24日には、郡山ユラックス熱海で地区大会本会議が開催されます。ご参加いただく方はよろしくお祈りします。

防火パレードは、火災予防週間が始まる11月9日(水)になりました。この日は風の谷への移動例会日と重なる為、パレードのセレモニー時間の調整をして頂き、例会に影響がないようにして頂くことになりましたので早めにお知らせいたします。

本日は、日本銀行福島支店長の中尾根康宏様にご多忙の所お越しいただきスピーチをお願いしましたところ、快くお引き受け頂きました。誠にありがとうございます。中尾根支店長は、福島ロータリークラブの会員でもあります。東北に日本銀行の出張所が開設されたのは福島市が最初で、1899年(明治32年)7月のことでした。かつて東北経済の拠点であったことがうかがえます。ある意味福島市の誇りですね。今回は、福島市の経済環境をとりまく今後の展望について、金融政策のブロから見たお話をお聞きできる機会に恵まれましたことに感謝いたします。後程よろしくお祈りいたします。

以上で会長挨拶といたします。

9月28日(水)のプログラム

- 12:30 ①開会点鐘
- ②ロータリーソング 「南RCの歌」
- ③4つのテスト
- ④来訪者紹介と会長挨拶
- ⑤スマイリングBOXの報告
- ⑥お食事をどうぞ
- ⑦ゲストスピーチ
- ⑧フードモデル指導説明
- ⑨幹事報告
- ⑩各委員会報告

13:30 ⑪閉会点鐘

今後のプログラム

- 10月5日(水) ガバナー公式訪問
ガバナー補佐クラブ訪問
例会前:会長・幹事会 クラブ協議会
- 10月12日(水) ロータリーの友読みどころ
誕生日のお祝い
米山奨学金授与 米山奨学生スピーチ
新会員スピーチ
- 10月19日(水) 夜間例会 会員スピーチ
新会員歓迎会
新会員オリエンテーション
全会員セミナー
- 10月26日(水) 猪苗代湖漂着水草回収作業参加報告
大声杯参加報告
姉妹クラブ結成5周年記念行事参加報告
会員スピーチ

地区情報・第一分区・関連情報

- 10月4日(火) 第4回会長幹事会(二本松)
- 10月5日(水) ガバナー公式訪問
- 10月5日(水) バスト会長会・指名準備委員会(夜間)
- 10月7日(水) ガバナー歓迎晩餐会(二本松御苑)
- 10月22日(土) 地区社会奉仕委員会セミナー(ユラックス熱海)
- 10月22日(土) 猪苗代湖・漂着水草除去回収作業
- 10月23日(日) 大声杯(あづま球場)
- 10月24日(月) 姉妹クラブ結成5周年記念行事(ニューオータニ)



ゲストスピーチ 日本銀行福島支店 中尾根 康宏 支店長 『福島を取り巻く経済状況と今後の見通しについて』

※スピーチはパワーポイント資料をもとに判り易くご説明されました。

ただ今ご紹介いただきました日本銀行福島支店の中尾根でございます。本日は、当地を代表する福島南ロータリーの皆様方の前で、お話しする機会を頂戴し、誠にありがとうございます。日本銀行福島支店は、今から120年近く前の19世紀の終わり、1899年に、日本銀行の8番目の店舗として設置されました。東北では最初の店舗です。その頃の福島市は、全国有数の生糸の生産・集積拠点として栄え、30以上の銀行があったそうです。しかし、景気があまりにもよく、資金需要が預金残高を上回ったため、常に資金不足で、金利も全国を上回っていたようです。このため、地元経済界が熱心に日銀の誘致を行い、開設に結びついたとのことでした。それ以来、当地の方々を支えて頂きながら、戦争や震災も乗り越え、今日に至っているわけがあります。

本日いただいたテーマは「福島を取り巻く経済状況と今後の見通しについて」であります。福島市の経済は、震災から5年余りが経過し、現在、岐路に差し掛かっています。今が正念場かと思われまます。

1ページ目は、日銀短観の数字です。短観という統計は、日銀が四半期ごとに作成する企業に関する統計でありまして、企業経営者の方にアンケートにお答えいただき、それを集計したものです。対象の企業は全国で1万1千社、福島で200社程度になります。

配布資料にて、上段が全国の調査結果、下段が福島県の調査結果です。左から右に、5回分の調査結果を掲載しています。まず、最新の2016年6月(シャドロー)の福島の調査結果にご注目ください。そのうちの一番上の全産業の数字をご覧ください。プラス10です。上に目を移していただき同じ時期の全国の結果をみてください。プラス4です。すなわち、今は福島の方が全国平均より景気が良いという結果になっています。

実は、福島は、数字の高いグループにいます。福島の製造業はゼロ、非製造業はプラス18です。全国は、製造業ゼロ、非製造業プラス8です。福島が良いのは非製造業の方になります。その下に建設業の集計結果を載せています。プラス46という極めて高い水準になっています。福島は、建設業が一人で引っ張っている経済という特徴が良く出ています。

さて、次に、1年前からの変化をみてみましょう。全産業の数字が下がっていると思います。1年前はプラス16でしたが今は10です。再び、建設業をご覧ください。1年前はプラス62だったのです。先ほど、建設業は景気が良いと申し上げましたが、1年前はもっとよかったのです。皆様もよくご存知と思いますが、この3月に震災からの集中復興期間の5年が終了しました。集中復興期間というのは、早期復興のために、政府の財政資金を集中的に投入してきた期間です。それが終わったということです。このため、公共工事は、少しずつですが、減り始めています。

それを数字で確認してみましょう。2ページは、公共工事請負金額という統計です。建設業者が国や県、市町村から受注した公共工事の金額を集計した統計です。左のグラフが福島、右のグラフが全国ですが、福島の数字を震災前と比べてください。5倍近くになっています。これが、建設業者の好景気の背景です。この間、全国では、公共工事は横ばいですが、公共工事の抑制が続いているためです。ただ、福島も水準はまだ高いのですが、少しずつ減り始めています。これが、先ほどの建設業の業況判断D1が高水準ながら低下し始めている背景です。そして、これからは徐々にですが減る方向です。すなわち、建設業が福島経済を支える時期は終わりに近づきつつあるということでもあります。

暗い話ばかりするとよくないので、明るい材料もあります。次のページですが、新設住宅着工統計です。住宅を新築するときの届け出件数を集計したものです。こちらでも壊れた住宅の再建や避難した人たちのニーズが強いため震災前の2倍に膨れ上がっています。ただし、公共工事と違い、まだ減っていません。これは、幸か不幸か、人手不足で工事が遅れており、ニーズがなくなり、まだ高水準が維持されているという姿です。これからの、マイナス金利の効果も加わったため、住宅ローン金利が史上最低水準に下がっていることから、この状態はまだしばらく続くと考えています。

そして、次のページは、個人消費です。経済全体の6割くらいを占めています。食べ物、衣料品や自動車、家電、旅行、携帯電話料金など様々なものを含みます。ここでは、代表的な指標を2つお示ししています。4ページが大型小売店の売上高、すなわちデパートとスーパーの売上高の合計です。次の5ページは、乗用車の新車の登録台数です。これらを見ると、いずれも全国を上回っています。おそらく、個人消費全体でも、全国を上回っていると思われる。その理由の一つは、先ほど申し上げたように建設業者が儲かっていることです。従業員の所得も上がっています。従業員数も増えています。ただそれだけではありません。次のページをご覧ください。東京電力からの賠償金です。これまで累計で6兆円以上が支払われています。これが消費に影響を与えないわけはありません。ただ、これも、そろそろ終息に向かうのかなとの見方が多くなっています。この点からも、福島県経済の先行きに関しては、危機感を持たざるを得ません。

最後に、製造業です。最初にご覧いただいた短観を思い出してください。福島も全国もゼロでした。次のグラフは鉱工業生産指数という統計です。この統計で全国と福島を比較すると、特に最近、福島の方が低くなっています。短観と鉱工業生産の結果が異なるのは、短観の企業が福島に本社があるかどうかで地域を分けている一方で、生産は、大企業の出先の工場が多く含まれているためです。皆さんもご記憶と思いますが、福島県内では、昨年くらいから、エレクトロニクスなどで出先企業の生産の縮小や撤退が相次ぎました。この結果、当地の生産水準は下押し圧力を強く受けています。

これはゆゆしき状況です。これまでのフォローウィンドがアゲンストに転じつつある、すなわち、建設がこれから弱くなる、あるいは消費もぬかるんできつつある中で、製造業に頑張ってもらえないからです。こうした状況に対し、行政では、イノベーションコースト構想など、ロボットや医療機器などの新産業の育成に力を入れています。これは福島市の未来のためにぜひとも成功させなくてはならないプロジェクトです。ただし、時間がかかります。復興需要が減り始めるタイミングには間に合わないかもしれません。福島経済を支えるためには、これまで当地で頑張ってきた、一つ一つの製造業が、より一層力強く成長を遂げるしかありません。当地の製造業は、必ずやポスト復興需要の難局を乗り越え、福島が力強い成長経路を歩んでいくものと確信しております。

日銀といたしましても、金融機関とも力を合わせながら、そうした皆様の努力を金融面からしっかりと支えていきたいと存じます。ご清聴ありがとうございました。

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字通吹6-2 ザ・36・メイファイブ1F2号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878
HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp
例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375

第2回福島南RCゴルフコンペについて ゴルフ部会 菅野 和宏 部長



開催年月日 2016年9月19日(月)
場所 ボナリ高原ゴルフクラブ
参加人数 6名
優勝 橋脇 英行会員
OUT 39 IN 36 GROSS 75
HDCP 3.0 NET 72.0
次回ゴルフコンペ 10月30日(日)
郡山熱海ゴルフクラブにて